

2023年度 昭和大学
高山植物保護サークル・
JAFPA昭和大学北岳支部
特別講演会

植物の多様な繁殖戦略
～擬態する花と一斉に咲く花～

【講師】



柿嶋 聡 先生 博士(理学)

昭和大学富士山麓自然・生物研究所 講師

国立科学博物館植物研究部 協力研究員

2024年3月16日 土曜日 13時30分～

メイン会場:昭和大学(旗の台キャンパス)

2号館4階ラーニングコモンズ(LC)

WEB配信:Zoom ミーティング(URLは背面参照)

主催:昭和大学高山植物保護サークル

共催:一般社団法人日本高山植物保護協会昭和大学北岳支部

協力:昭和大学北岳診療部、同OB会(白鳳会)

本講演会に関するお問い合わせ:高山植物保護サークル(主務・会計)

鈴木 慎太郎(医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門)

E-mail szshintr@med.showa-u.ac.jp

植物の多様な繁殖戦略

～擬態する花と一斉に咲く花～

動くことのできない植物は、様々な繁殖戦略を持ち、周囲の生物や環境に適応している。特に、繁殖器官である花は、花粉を運ぶ送粉者の好みに合わせて様々な色や形、匂いを持つことが知られている。しかし、一見するとなぜ進化したのかよく分からない奇妙な形態や生態を持つ花も存在する。本発表では、そのような興味深い特徴を持つ2つの植物、「昆虫を騙して花粉を運んでもらう擬態花を咲かせる植物」、「6年に1度だけ一斉に開花して枯れる植物」について紹介する。

2024年 3月 16日 土曜日 13時 30分～

Zoomの URL とパスコードは、pub.jafpa@gmail.com まで申込みされた方に送ります。

講師：柿嶋 聡(かきしま さとし) 先生 プロフィール



kakishima@cas.showa-u.ac.jp

東京大学理学部生物学科から理学系研究科生物科学専攻に進学し、小石川植物園で、植物の種間の交雑現象などについて研究を行った。学位取得後、静岡大学創造科学技術大学院で、周期ゼミの大発生や一斉開花の進化メカニズムについて、国立科学博物館 植物研究部および分子生物多様性研究資料センターにおいて、擬態する花の進化についての研究を行った。2023年4月に昭和大学富士山麓自然・生物研究所に着任した。

昭和大学富士山麓自然・生物研究所(富士吉田キャンパス内)
Showa University The Mt. Fuji Institute for Nature and Biology

自然・生物に関わる研究を富士山麓の自然環境と生態系の保全に生かす

富士山麓自然・生物研究所は、富士山麓の自然・生物に関わる研究を通じ、当該地域の自然環境と生態系の保全に寄与することを目的として、2022年5月に開所しました。豊かな環境を未来の世代に残していくために、昭和大学は研究活動を通して貢献していきます。